



## 伝統や文化の火を絶やさない、 レキオス HD が経営ノウハウ提供で事業継承支援

経営戦略の策定・推進及び新規事業開発、シナジーの創出を行うレキオスホールディングス（那覇市、代表取締役：宜保文雄）は、これまでに蓄積した経営ノウハウを提供し、アウトドアショップ燈人（那覇市、責任者 與那嶺康貴）の事業継承を支援。同社が取り組むアウトドアと沖縄の伝統工芸である琉球ガラスを掛け合わせた新商品「耐熱琉球ガラスのオイルランタングローブ（ホヤ）」の開発を促進し、製品化に成功しました。

2024年1月に（2023年12月入居）、おきなわ工芸の杜（沖縄県豊見城市）にて、熱に弱く成形が難しい琉球ガラスをランタンに加工する技術の継承と担い手の育成を目的とした「耐熱琉球ガラス体験工房 燈人-TOMOSHIBITO-」が晴れて開所し、展示即売会も開催されました。

通常の琉球ガラスは、熱に弱く割れやすいため、オイルランタンの火を囲うグローブ（ホヤ）として耐熱の琉球ガラスを起用した製品は全国でも初めて。構想から足掛け3年、コロナ禍の影響による工房の閉業や後継者不足により一度は途絶えてしまった技術が事業継承支援により、復活いたします。

次世代の担い手となる後継者が不足しており、廃業を余儀なくされる企業が多く存在する中、経営戦略の策定・推進及び新規事業開発、シナジーの創出を行うレキオスホールディングスは、グループで培ったM&Aの実績とノウハウを活かし、お客様の「承継」に関する悩みや課題に対する支援を行っています。

今後は、次世代を担う経営者育成プログラムにも注力していく方針であり、“地域企業・地域産業、伝統工芸”を守り育てていながら、子ども達の未来とおじい・おばあの安心な暮らしを支える“地域”を元気にしていきたいという想いをカタチにしていきます。

### 耐熱琉球ガラスのオイル ランタングローブ（ホヤ）

琉球ガラス越しに柔らかく  
揺らめく炎は眺めているだけ  
で癒やされます。



## ■「アウトドア×沖縄伝統工芸」耐熱琉球ガラスオイルランタン商品化への道のり

コロナ禍で、甚大な打撃を受けていた沖縄の観光産業。琉球ガラスをはじめとする沖縄の伝統工芸産業にも大きな影を落とし、営業停止に追い込まれる工房や職人たちが仕事を失っていく姿をニュースで見た時、アウトドアショップ燈人の責任者 與那嶺康貴は「アウトドアと伝統工芸のコラボができないか」と思い立ちました。

コロナ禍を背景にキャンプブームが加速していた矢先でもあり、琉球ガラスの職人技を取り入れたアウトドア商品を開発する事で、観光業の枠組みだけでなく、本土への販路も拡大しながら工房の売上げ促進に貢献し、伝統工芸産業を盛り上げていきたいという想いで商品開発が始動しました。

製作を手掛けてくれる工房を見つけ、早々に試作に取り掛かりましたが、琉球ガラスは熱に弱くランタンに点火するとすぐに割れてしまいました。耐熱仕様にするには、原料も調合の仕方も通常とは異なります。さらに、ガラスを溶解する温度も高くなり、窯から出した後はガラスの素地が固まる時間が早いいため、加工が難しく成型には高度な職人技が要求されるのです。対応できる職人がほとんどいないという現実に直面し、あきらめかけた矢先に沖縄で唯一耐熱琉球ガラスの製造を手掛けていた本島北部にある工房の存在を知り、早速共同開発をご提案。

しかし、ランタンのグローブ（筒状）を形成するには、さらに特殊な技法が必要となり、製作は難航。加工過程で必要な新たな設備投資も行い、この道 50 年の職人さんと共に試行錯誤の末、ようやく「耐熱琉球ガラスのオイルランタングローブ（ホヤ）」が誕生しました。

全国販売に先駆けて県内向けに抽選販売をすると、6 個に対して 106 名の応募があるほど注目を集め、商品への高い関心とニーズを確信しました。



沖縄テレビ 2022/9/22 放送

「異色のコラボレーションで伝統工芸の新たな魅力を発信」

アウトドアショップ燈人（ともしびと）の責任者・與那嶺康貴さんは「コロナで応援したい気持ちもあり、キャンプ用品と伝統工芸を絡められないかと思った事がきっかけ」と語る。



いよいよ販売拡大に向けて生産体制を整えようとした所、生産を依頼していた工房から「半年後には工房を閉めざるを得なくなってしまった」と打ち明けられます。解散後は、高齢を理由に現役を引退する人や、コロナ禍で不安定な状況が続いた業界を去っていく人もおり、伝統を担う職人の高齢化や後継者不足の実態を肌で感じました。そして、「このまま耐熱琉球ガラスの技術が途絶えてしまうのはもったいない」小さな望みをかけて、県内のガラス工房 25-30 か所へ掛け合うも、良い返事はもらえずにいました。

## ■レキオスホールディングスの事業承継コンサルティングによる立て直し

多くの課題を乗り越え、やっとの思いで商品開発を行なった「耐熱琉球ガラスのオイルランタングローブ（ホヤ）」が職人の担い手不足により頓挫すると同時に、耐熱の琉球ガラスをつくるための原料の調査や高い加工技術も途絶えることになりました。

一度は途絶えた耐熱琉球ガラスの技術を復活・継承するため、レキオスホールディングスは事業承継のコンサルティングを開始。

新商品開発に注力できる盤石な経営基盤の構築を目指し、2023 年 12 月に豊見城のおきなわ工芸の社に工房をかまえ、工房の安定運用・企業価値向上に向け、職人の住まい探しや通信環境整備といったインフラの提供、自社旗艦店であるレキオス豊見城店での商品販売等の販売支援、ホールディングスが手掛ける「ホテルエアポートビューNAHA」全部屋での商品取扱、及びその他ホテルや飲食店など、沖縄県特産品としての販路拡大を推進しています。グループの経営資源と地域資源を結集させシナジー効果を最大限に発揮し経営をサポート。地域に根ざした実店舗での相互送客を図りながら、沖縄の伝統工芸を守り育てることで地域活性化を目指しています。

レキオスホールディングスの事業継承コンサルティングの特徴は「自由にチャレンジできる持続可能且つ盤石な経営基盤の構築支援」と「経営基盤構築のためのホールディングスの強みを活かした経営資源を

掛け合わせたサポート」です。



## ■伝統工芸の技術を継承する体験工房をオープン

耐熱琉球ガラスの技術が途絶えてから約1年。順調に経営の基盤を構築していますが、職人の担い手不足の問題は解決していません。誰かに任せるのではなく、“自分達がやるしかない。技術を継承していかないといけない”と自社で開発・製造を手掛ける事を決意。

製造技術のある職人を迎え入れ、「耐熱琉球ガラス体験工房燈人-TOMOSHIBITO-」を開所する運びとなりました。本工房を製造拠点としながら、作り手と使い手のふれあいの場を通じて沖縄の伝統工芸である琉球ガラスの新たな魅力を発信していきたいと考えます。

さらに、高度な技術が要求される耐熱琉球ガラスの技術を継承するため、後継者の育成にも力を入れていきます。

## 「燈人-TOMOSHIBITO-」耐熱琉球ガラスグローブ製造体験



ご希望の燈人オリジナル琉球ガラスグローブのカラーを選んで型にガラスを吹く製造体験ができる。



原料の調合と温度で色合いが変わってくる。豊富なカラーバリエーションも体験工房の特色として打ち出していきたい。

12色展開を予定

### 琉球ガラスの課題

- ①耐熱ガラスではない
- ②後継者不足
- ③途絶えてしまった耐熱技術

×

### 燈人がやるべきこと

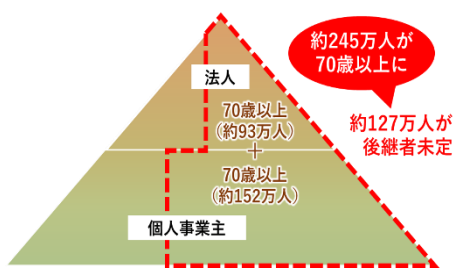
- ①耐熱琉球ガラスの技術復活
- ②耐熱琉球ガラスの職人の復職
- ③耐熱琉球ガラスの後継者育成

## ■レキオスホールディングスが注力する次世代を担う経営育成プログラム

日本では 2025 年までに平均引退年齢の 70 歳を超える中小企業の経営者がおよそ 245 万人おり、そのうちの 127 万人程度に後継者がなく廃業の危機に直面しており、休業や廃業、解散した企業は年々増え、およそ半数は黒字だというデータもあります。優れた技術や製品をもっていながら、後継者がいないために会社を閉じるという事では日本にとっても大きな損失です。経営を次世代にバトンタッチしていくことが地域の活性化につながっていくはず。

そこで、私たちは次世代を担う人材育成を見据え、「物事の本質」と「実践力」を身につけることを目的とした経営者育成プログラムを構築し、多様な分野の人材が主体的に社会問題の解決に取り組み、多くの仲間達とより良い社会を創造できるよう、事業継承コンサルティングに注力します。

### 中小企業・小規模事業者の経営者の2025年における年齢



- 70歳を超える経営者は約245万人
- うち127万(日本企業の1/3)が後継者未定
- およそ半数は黒字廃業の可能性
- 10年間で60万件以上のM&Aニーズ

レキオスの事業承継コンサルティングは  
以下プログラムにも注力していく

「次世代を担う経営育成」

#### 【燈人】

会社名 : アウトドアショップ燈人-TOMOSHIBITO-  
所在地 : 沖縄県那覇市曙 1 丁目 8-10 1F  
責任者 : 與那嶺 康貴  
事業内容 : 「アウトドアショップ燈人-TOMOSHIBITO-」は、沖縄では希少なガレージブランドや、オリジナル商品などを取り扱っており、2019 年に那覇市曙の沖縄ヤマハ店内にオープン。  
沖縄ヤマハ <https://www.okinawa-yamaha.com/>  
燈人 <https://tomoshibito-okinawa.stores.jp/>  
TEL : 098-666-5365  
メディア掲載 : RBC の TV 番組『沖縄 CLIP』にて、おきなわ工芸の社 (1/15~1/19 放送) が特集され、「耐熱琉球ガラス体験工房燈人」も取材をうけました。



#### 【レキオスホールディングス会社概要】

会社名 : 株式会社レキオスホールディングス  
所在地 : 沖縄県那覇市おもろまち 4-19-16  
代表者 : 代表取締役社長 兼 CEO 宜保 文雄  
資本金 : 2,000 万円  
事業内容 : グループ全体の新規事業開発及び経営戦略の策定・推進、シナジーの創出や経営管理等  
URL : <https://www.lequios.co.jp/>

#### 【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

担 当 : 株式会社 レキオス グループ統括室 宮里友巳 (みやざとともみ)  
住 所 : 〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち 4-19-16  
電 話 : 098-941-3355 FAX : 098-941-3191